

火災予防策

1) 住宅用火災警報器の設置 (向井祐介選手)

・火災による死者の発生した家の住宅用火災警報器の設置状況(過去7年)を調べたところ約6割で設置されていませんでした。もし設置されていたら・・・と後悔しないためにも、家族、地域で1人でも犠牲をださないために、設置推進をすることが大切です。



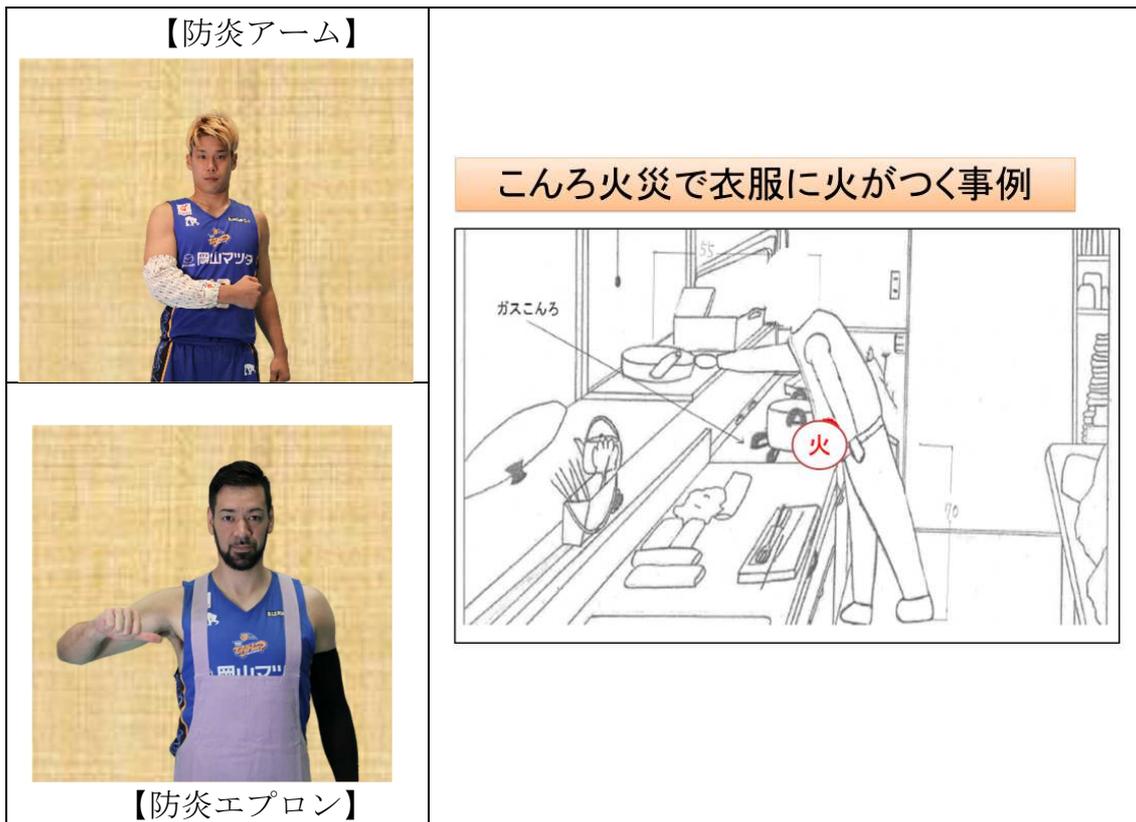
2) 住宅用消火器の準備 (大森勇選手)



・過去に死者が発生した火災の中で、初期消火の失敗により、逃げ遅れるケースがあります。1回目は、水で消火をして、2回目で毛布をかぶせて、最後に消火器を使用して消火にかかる場合があります。すべての火災に対応している消火器でも、2番目、3番目というように、火災発生から対応が遅れるほど、初期消火に失敗してしまいます。また、住宅用の消火器は従来型の消火器と比べて軽く、様々な色があります。ただし、消火ができないと判断したら、早めに避難をしてください。万が一に備えてご家庭に準備を。

3) 防災品の使用（岡田陸人選手・比留木謙司選手）

・死者の分析の中では、衣服に火がついて、火災になる着衣着火があります。一度衣服に火がつくと、一気に燃えひろがります。これらを防ぐために、防災品の使用をおすすめします。特に、こんろ火災では、その効果は高いと思われます。下の絵のように、こんろ火災での着衣着火は非常に危険です。防災品を使用しましょう！



まとめ

・火災による死者ゼロにトライ！というキャッチフレーズのもと、トライフープ岡山の選手に死者を出さないための住宅防火・防災グッズを紹介していただきました。まずは、火災を起こさないことが大切ですが、万が一に起こってしまった場合のことを考え、地域や家族を交えて火災予防、火災による死者を防ぐ対策を日ごろから心がけましょう。